



謹啓
 貴社代司計南氏を以て
 何事か
 松樹社（昭和宗園行）
 の海産物の中につき
 いろいろ御書力を以て
 承知致し、誠に有難
 さまと存じます。また
 いろいろ御取計を承知
 致し、誠に有難さまと
 存じます。御返の程、
 何事か

有
 日
 世
 三
 一
 片
 の
 敬
 意

本
 河
 入
 隆
 儀





啓

美大代司斗南氏を以て

可一書

拙禮社（昭和三十四年）

の福徳合の申に於て

身命の御書力を以て

心と云ふことあります

らるしく御取計にあら

と如う御禮の致し

可

夢の歌

あはれ

春の月





芥川龍之介手寫

東久野



芥川龍之介書簡



特別
文庫14
028



中岡久雄藏



ついでにテニテラ所の子東也

大正九年 二月 余、これ

より東京女子の學校（今りの茗荷）

大學（大廣間）にてオリカハモリス

に於て一場の講演を試み

たことも記憶す。

昭和四年十二月



木
間
久
雄
様

末
の
一
比

子
規

五月廿三日

琴山龍之介

里店河子新之介

五
分
紙
屋